Panasonic®

安全上のご注意

準備

再生

ミニコンポなどと使う

パソコンで音楽転送

ライン録音

その他

取扱説明書

SD オーディオプレーヤー

品番　SV-SD870N

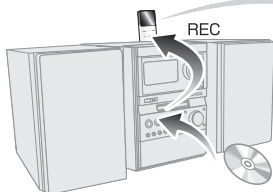
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（62 ～ 64 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

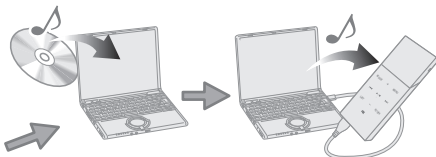
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9140-S
F0208RE1038

音楽を SDカードで持ち出そう

● SDカードへの録音対応機器については、28ページをお読みください。

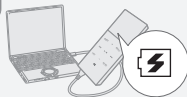
パソコンから音楽を転送する

音楽を転送

付属のCD-ROM（SD-Jukebox）をインストール（P36）

音楽データをSD-Jukeboxでパソコンに取り込む（P40）

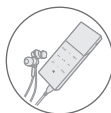
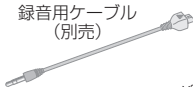
本機にSDカードを入れてパソコンと接続し、SD-Jukeboxで音楽データを転送（P40）

充電する

接続して充電（P10）

MDプレーヤーなどと本機を接続して音楽を録音する

音楽を録音

「LINE OUT」や「ヘッドホン端子」があるオーディオ機器と本機を接続して、本機で音楽を録音することができます。（接続例：P45）

録音用ケーブル（別売）

パソコンを使わずに音楽を録音できます。（P42）

充電する

パソコンやSDステレオシステムを使わなくても、別売のACアダプターで充電することができます。（P10）

準備

もくじ

準備

● エコ充電設定をする場合は 12 ページをお読みください。

再生

基本操作　電源を入れる〜音楽を聴く〜電源を切る

ミニコンポなどと使う

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(62～64ページ)

パソコンで音楽転送

ライン録音 パソコンを使わずに録音

その他

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、2008 年 2 月現在のものです。

□ SD メモリーカード(2 GB)	□ CD-ROM
□ USB 接続ケーブル (K1HY08YY0008)	□ ノイズキャンセリングインサイドホン (L0BAB0000213： 付け替え用イヤーピース S、L サイズ付属)
□ D-snap port アジャスタ (RFE0206) 本機を D-snap port 接続するときは、必ず付属の裏面に「Ⓐ」の刻印のあるアジャスタをお使いください。 	

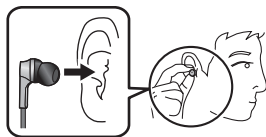
- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 本書では、付属品も含む本機で使用できるカード（P57）を **「SD カード」**、ノイズキャンセリングインサイドホンを **「インサイドホン」** と記載しています。

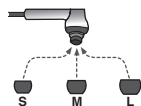
別売品のご紹介		
	録音用ケーブル	RP-WA100
	AC アダプター	RP-AC800
	本革ケース	RP-SB410
	ストラップキット	RP-WA5
	イヤーピース	RP-PD2
	リモコン付きステレオインサイドホン	RP-HJE55
	アクティブスピーカー	RP-SP350

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/d_snap

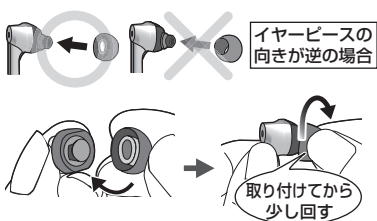
■ インサイドホンについて

インサイドホンのL（左）とR（右）の表示を確認して耳へ装着する

- 少し回すようにすると、奥まで入れやすくなり、耳にぴったりと装着しやすくなります。
- インサイドホンを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

■ イヤーピースについて

イヤーピースが耳の穴にフィットしていないと、密閉性が低下し、低音が出ないことがあります。より良い音で聴いていただくために、耳に正しく装着してください。
お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳の穴に合わない場合は、付属の S サイズや L サイズに付け替えてください。

- イヤーピースは長期の使用または保存により、劣化することがあります。このような場合は、別売のイヤーピース（RP-PD2）をお買い求めください。

◇ 取り付けるときは

- イヤーピースを取り付ける方向を確認してください。
- 回すようにして、確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、インサイドホンから外れやすくなります。

お知らせ

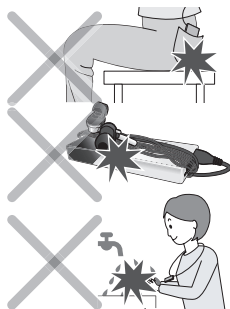
- 音楽を聴きながら歩いたりすると、ガサガサというこすれ音が聞こえることがあります。これはコードが衣服などにこすれる音で、密閉性の高いノイズキャンセリングインサイドホンのコードを伝わって聞こえる音です。故障ではありません。
- 冬場など空気が乾燥しているときは、静電気によってプチプチと異音が聞こえたり、耳元でパチッと放電することがあります。これは衣服などに帯電した静電気によるもので故障ではありません。市販の静電気防止スプレーなどを使用することで軽減することがあります。

まずお読みください

故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **付属のケーブルを使用してください。**
  また、ケーブルは延長しないでください。

- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

- **お手入れについて**
  - 乾いた柔らかい布でふいてください。
  - 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
  - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。

記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品または SD カードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

本書内のイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図･イラスト･画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

各部の名前

動作表示ランプ

充電状態や再生状態を表示します。

表示パネル

しばらくすると省電力のため、表示が消えます。

表示を確認するには、＋、− などの操作ボタンを押してください。

操作ボタン

それぞれのボタンの説明は 16 ページに詳しく説明しています。

底面

D-snap port 端子

インサイドホン端子
(∅3.5 mm ステレオミニジャック)

カードふた

製造番号について

カードふたを開けた内側に製造番号が記載されています。

ホールドスイッチ［HOLD］

リセットボタン［RESET］

電源が切れないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップなど先のとがったものを使って RESET ボタンを押してください。

ストラップ取付部

本機にはストラップ取付部が2カ所あります。D-snap port 接続する場合は、本機上部のストラップ取付部にストラップを付けてください。

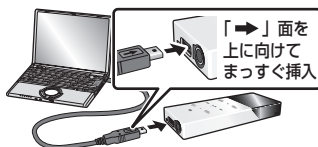
準備

充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。

パソコンで充電

- パソコンを起動させておく

1 付属のUSB接続ケーブルを本機に差し込む

2 USB接続ケーブルをパソコンに差し込む

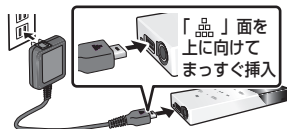
動作表示ランプ	
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	点灯

USB

充電表示	
充電中	通常充電時：[充電アイコン] エコ充電時：[エコ充電アイコン]
充電完了	[電池アイコン]

- 接続後しばらくすると表示が消えます。充電表示を確認するには、＋、－などの操作ボタンを押してください。
- パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モード中は充電されません。パソコンの設定を確認してから充電してください。

AC アダプター(別売)で充電

必ず専用の AC アダプター(別売：RP-AC800)を使用してください。

1 AC アダプター(別売)をコンセントに差し込む

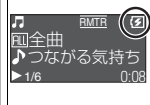
2 ACアダプターのケーブルを本機に差し込む

(電源を切って充電時)

動作表示ランプ	
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	消灯

充電

充電表示	
充電中	通常充電時：[充電アイコン] エコ充電時：[エコ充電アイコン]
充電完了	[電池アイコン]

再生しながら充電することもできます。

充電表示	
充電中	通常充電時：[充電アイコン] エコ充電時：[エコ充電アイコン]
充電完了	[電池アイコン]

接続後しばらくすると表示が消えます。充電表示を確認するには、＋、－などの操作ボタンを押してください。

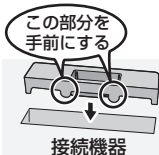
RP-AC800 以外の AC アダプター(SV-SD800N/SV-SD400V の付属品など)は使用できません。

充電には通常充電とエコ充電があります。
エコ充電の設定については 12 ページをお読みください。

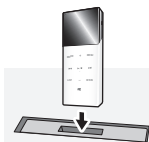
D-snap port 対応機器で充電

SD ステレオシステム（SC-PM870SD、SC-PM670SD など）や、アクティブスピーカー（RP-SP350）などと接続することで本機を充電することができます。

- 本機の電源を切っておく（P14）

1 付属のD-snap portアジャスタを取り付ける

2 本機を端子にあわせてまっすぐ奥まで装着する

（電源を切って充電時）

動作表示ランプ	
充電中	点滅（約2秒間隔）
充電完了	消灯

- 本機を装着したとき、前後に動きますが性能的には問題ありません。
- 接続機器の取扱説明書もお読みください。

再生しながら充電することもできます。

再生中の充電では、本機の表示は点灯したままになります。

充電時の画面表示例

充電表示	
充電中	通常充電時：[充電アイコン] エコ充電時：[E充電アイコン]
充電完了	[電池アイコン]

充電する（つづき）

エコ充電設定をする

通常充電は 100% の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。エコ充電は 90% の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。（お買い上げ時は「オフ」（通常充電）に設定されています）

充電時間

通常充電時	約 3 時間
エコ充電時	約 2 時間

– 温度 25 ℃で充電時
– 電池を使い切った状態※で充電時
※「電池残量がありません 充電してください」の画面が表示

充電回数

通常充電時	約 500 回
エコ充電時	通常充電時の約 2 倍

充電式電池について
充電式電池は温度の影響を受けやすく、温度が低いまたは高いときは充電にかかる時間が通常よりも長くなる場合があります。電池温度が約 5 ℃以下または約 40 ℃以上になると充電できません。

● 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。

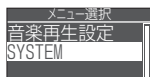
1 ▶/■ を押して電源を入れる

2 MENU を押す

3 ＋ 、－ を押して「SYSTEM」を選び、▶/■ を押す

メニュー選択
音楽再生設定
SYSTEM

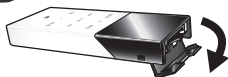
4 ＋ 、－ を押して「エコ充電設定」を選び、▶/■ を押す

SYSTEM
操作音
LANGUAGE
エコ充電設定

5 ＋ 、－ を押して「オン」または「オフ」を選び、▶/■ を押す
– **オン**：エコ充電
– **オフ**：通常充電

お知らせ
● 充電式電池を上手にお使いになるには
– エコ充電設定にして充電してください。
– パソコンと本機を接続したままにしないでください。
（充電完了したときや使用しないときは、本機の接続を外してください）
– 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。
（本機を長期間使用しないで放置すると充電式電池が劣化します）
– これらの使いかたにより、電池の寿命（充電回数）が長持ちします。

SD カードの出し入れ

SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。(P14)

1 カードふたを開ける

2 SD カードを入れる

- ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。

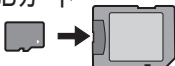
3 カードふたを閉じる

◇ SDカードを取り出す

1. カードふたを開ける
2. SD カードを「カチッ」と音がするまで押す
3. まっすぐ引き出す
   - 取り出したあとは、カードふたを閉じてください。

miniSDカード/microSDカード

miniSD カードや microSD カードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

miniSDカード

microSDカード

- microSDカードはSDカードアダプターに直接装着してください。

下記の装着は動作保証していません。

SDカードの書き込み禁止スイッチ

SDカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

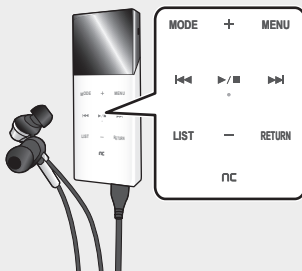
お知らせ

- SDカード以外のカードは入れないでください。
- 「カードにアクセス中です」表示中や、再生中、ライン録音中は、SD カードを取り出さないでください。

準備

音楽を聴く

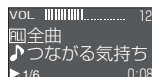
- 音楽データを記録したSDカードを本機に入れておく（P13）

- インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく

操作後しばらくすると、省電力のため表示パネルの表示が消えます。表示を確認するには、＋、－などの操作ボタンを押してください。

1 ▶/■を押して電源を入れる

ファイル読み込み画面が表示されたあと再生が始まります。

読み込んだSDカード内の曲数

2 音量調整する

音量を大きくする：＋を押す

音量を小さくする：－を押す

- お買い上げ時は「12」に設定されています。

停止する

▶/■を押す

電源を切る

▶/■を約 2 秒以上押したままにする

- MODE、MENU、LISTを押して設定中は、電源を切ることはできません。

本機で再生できる音楽データは「SD オーディオ」と「録音ファイル再生」があります。

SD オーディオとは

付属の SD-Jukebox を使ってパソコンから音楽転送したり、当社製 SD ステレオシステムなどから SD カードに録音 / 転送したデータです。

☞ 音楽を記録する　：P40
☞ 再生する曲を探す：P20

録音ファイル再生とは

録音用ケーブルで接続して、MD プレーヤーなどからライン録音したデータです。

☞ 音楽を記録する　：P42
☞ 再生する曲を探す：P46

以下の音楽データをSDカードに記録しても本機では再生できません。

- WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで直接転送した音楽データ
- 他社製のSDオーディオ規格に準拠していないミニコンポなどで転送した音楽データ
- 携帯電話の音楽配信サイトよりダウンロードした、SD オーディオ規格に準拠していない音楽データ

電源を入れると「ライン録音モード」画面が表示されるときは？

ライン録音モード画面

REC　128k　AUTO　HIGH
停止中
-∞ -40　-20　-12　-4　0dB
▶/■:録音開始　-7:00:00

音楽再生モードに切り換えます。

1. **MODE を押す**
2. **⏮、⏭ を押して「♫ 音楽再生」を選び、▶/■ を押す**

操作ボタンのはたらき

▶/■

- **電源を入 / 切します。**
  入：ポンと押す
  切：約 2 秒以上押したままにする
- **押すたびに再生 / 停止します。**

＋ －

音量を調整します。

|◀◀ ▶▶|

スキップ（とび越し）やサーチ（早戻し / 早送り）します。
スキップ：ポンと押す
サーチ　：押したままにする

nc

ノイズキャンセル / モニター機能を切り換えます。

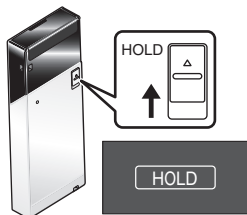
RETURN

メニュー設定時や再生する曲を選曲時、１つ前の画面に戻ります。

◇ ホールド機能

本機裏面の HOLD スイッチを［▲］の方向に切り換えます。

「HOLD」が表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

解除するには
HOLD スイッチを元の位置に戻してください。

MODE

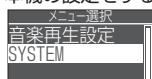
音楽再生モードとライン録音モードを切り換えます。

MENU

リピート再生などの音楽再生設定や、シンクロ設定などのライン録音設定、エコ充電設定などの本機の設定（SYSTEM 設定）メニューを表示します。

音楽再生設定をする（音楽再生モード時）　ライン録音設定をする（ライン録音モード時）

☞ P24　☞ P42

本機の設定をする

☞ P26

LIST

再生する曲を探します。

SDオーディオ　録音ファイル再生

ALL
全曲

録音ファイル選曲
全ファイル
ALBUM_01
ALBUM_02

☞ P20　☞ P46

十字ボタン操作について

モード選択やメニュー設定、再生する曲を選曲するときの項目の選択や決定は以下のボタンで操作します。

項目を選択

＋（上）、－（下）、⏮（左）、⏭（右）を押す

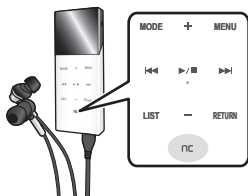
項目の決定

▶/■ を押す

ノイズキャンセル / モニター機能

● 付属インサイドホンをインサイドホン端子に奥までしっかり差し込んでおく

● ▶/■ を押して電源を入れておく

● 付属品以外のインサイドホン使用時はノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。

NC を押す

押すたびに設定が切り換わります。

● お買い上げ時はノイズキャンセル機能オフに設定されています。

お知らせ

● ノイズキャンセル/モニター機能を設定している場合、ノイズキャンセル機能オフよりも電池持続時間が短くなります。（P60）
● ライン録音モード中やパソコンと接続中は、ノイズキャンセル/モニター機能は働きません。
● MODE を押してモード選択中、LIST を押して選曲中、MENU を押して設定中は、ノイズキャンセル / モニター機能の切り換えはできません。
● モニター機能オンから、ノイズキャンセル機能オフに切り換えたときは、インサイドホンから聞こえる音が大きくなります。音量にお気をつけください。
● ノイズキャンセル機能は主に低い周波数帯域の雑音を低減するもので、高い周波数帯域の雑音に対しては効果がありません。また、すべての雑音が低減されるものではありません。効果には個人差があります。

ノイズキャンセル機能オン

乗り物内での騒音を減らして、小さな音量でより明瞭に音楽を楽しめます。

- ノイズキャンセル機能は周囲の音が聞こえにくくなるため、警告音なども聞こえにくくなります。運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホームなど）では使用しないでください。

モニター機能オン

インサイドホンを付けたままでも、周囲の音を聞こえやすくすることができます。

- モニター機能オンに切り換えた場合は周囲の音を聞こえやすくするため、音量が小さくなります。（ ＋ 、 − を押して音量を調整できます）

再生

ノイズキャンセル / モニター機能は付属のインサイドホンのマイクを利用します。

- インサイドホンのマイクを、手などで覆わないでください。

イヤーピースを耳に正しく装着してください。

- イヤーピースが耳の穴にフィットしていないと、十分な効果が得られません。
- 装着については 7 ページをお読みください。

「アーティスト」などのプレイリストから曲を探す

SD-Jukebox や SD ステレオシステムで音楽を転送すると、プレイリストというアーティスト名やアルバム名ごとに分類される音楽リストが作られます。これらのプレイリストから聴きたい曲を選ぶことができます。

- 本書では、「アーティスト」から曲を探す操作を説明しています。それ以外のプレイリストから選曲する場合も「アーティスト」と同様に操作してください。

■「アーティスト」から選曲する

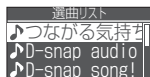
- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 LIST を押す

下の画面が表示される場合は、＋、－ を押して「SD オーディオ」を選び、▶/■ を押してください。

2 ⏮、⏭ を押して「アーティスト」を選び、▶/■ を押す

3 ＋、－ を押してプレイリストを選び、▶/■ を押す

4 ＋、－ を押して選曲リストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

- 再生画面で LIST を約 2 秒以上押すと、選んでいるプレイリストの選曲リストを表示することができます。（しばらく操作をしないでいると、再生画面に戻ります）

☞ 曲を削除する：41 ページ（SD-Jukebox を使って削除）

- SD-Jukebox や SD ステレオシステムで削除してください。本機のみでは SD カードに転送した曲を選んで削除することはできません。

■ SD オーディオのプレイリスト選曲項目

50 音検索

プレイリストを 50 音から検索して選べます。

- 50 音検索の詳しい操作説明は 22 ページをお読みください。

全曲（お買い上げ時の設定）

すべての曲から選べます。

新曲

SD-Jukebox や当社製新曲自動転送機能搭載の SD ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。

- 新曲に分類された曲がない場合は表示されません。
- 新曲プレイリスト内の曲は、転送されるたびに内容が変更されます。

マイベスト

当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

- マイベストに分類された曲がない場合は表示されません。

アーティスト

SD-Jukebox や当社製 SD ステレオシステムでアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム

SD-Jukebox や当社製 SD ステレオシステムでアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

ユーザープレイリスト

SD-Jukebox や当社製 SD ステレオシステムでお客様が作成されたプレイリストから選べます。

印象

SD-Jukebox や当社製 SD ステレオシステムで印象に分類されたプレイリストから選べます。

再生時、プレイリスト名表示のアイコンは以下のようになります。

：ウキウキ系　：癒し系

：ゆったり系

：その他の印象プレイリスト

お知らせ

- 本機とMDプレーヤーなどを録音用ケーブルで接続して録音した曲を探す場合は 46 ページをお読みください。
- プレイリストの作成方法は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）や SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

■「50 音検索」から選曲する

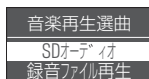
「50 音検索」を選ぶと、すべてのプレイリストの中から 50 音順にプレイリストを表示して検索することができます。

- 50 音検索機能は、プレイリストを元にした検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

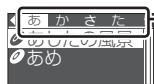
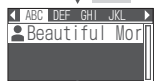
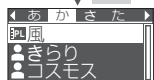
- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 LIST を押す

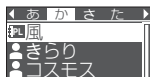
下の画面が表示される場合は、＋、－ を押して「SD オーディオ」を選び、▶/■ を押してください。

音楽再生選曲
SDオーディオ
録音ファイル再生

2 ⏮、⏭ を押して「50音検索」を選び、▶/■ を押す

3 ⏮、⏭ を押して、行を選ぶ

行は、あかさたな（ひらがな）…→ ABC（アルファベット）…→ etc.（数字など）の順で表示されます。

- 「あ」を選んだ場合、「あいうえお」で始まるプレイリストが表示されます。

- プレイリストが作成されていない行はとび越します。
- ⏮ を押すと、ひとつ前の行を選べます。

4 ＋、－ を押して再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押す

- ＋、－ を押すたびに選んでいるプレイリストが変わります。

選んだ行の先頭のプレイリスト

↓ －

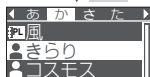
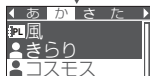
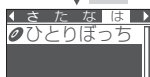
選んだ行の次のプレイリスト

↓ －

あ か さ た
風
きらり
コスモス

選んだ行の最後のプレイリスト

↓ －

さ た な は
ひとりぼっち

次の行の最初のプレイリスト

さ行、た行、な行にプレイリストがない場合は、次にプレイリストの入っている行にとび越します。

5 ＋、－ を押して選曲リストから再生したい曲を選び、▶/■ を押す

50 音検索は、SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄に入力された文字を元に検索します。

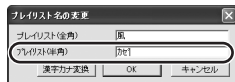
以下の場合は正しく検索できません。

- 「プレイリスト（半角）」欄に半角文字でプレイリストが入力されていない場合
- 「プレイリスト（半角）」欄に間違って入力されている場合

プレイリスト名を確認 / 修正する

1. **SD-Jukeboxを「通常モード」で起動する（P38）**
2. **本機をパソコンに接続する**
3. **SD をクリックする**
4. **「アルバム」などの分類を選ぶ**

全て HDD SD
G: (SDカード)
全コンテンツ
アーティスト
アルバム
風
右クリック

5. **プレイリストを右クリックして「プレイリスト名の変更」を選ぶ**
6. **「プレイリスト（半角）」を確認し、修正する**

7. **OK をクリックする**

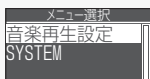
お知らせ

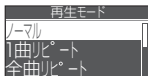
- SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄が空白の場合、「etc.」の行に分類されます。
- 「プレイリスト（全角）」欄に入力された文字では 50 音検索することはできません。

再生方法や音質などを設定する

1. MENU を押す
2. ＋ 、－ を押して「音楽再生設定」を選び、▶/■ を押す
3. ＋ 、－ を押して項目を選び、▶/■ を押す
4. ＋ 、－ を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

● お買い上げ時は「※」の内容に設定されています。

再生モード

再生モード
ノーマル
1曲リピート
全曲リピート

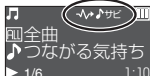
- **ノーマル※** 選択したプレイリスト内の曲を再生
- **1 曲リピート** 1 曲を繰り返し再生
- **全曲リピート** 選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生
- **A-B リピート** （再生中のみ）同一曲内の A-B 区間を繰り返し再生

「A-B リピート」の区間を設定するには

1. 再生中に「再生モード」の「A-B リピート」を選ぶ

2. 開始点(A)で ▶/■ を押し、さらに同一曲内の終点(B)で ▶/■ を押す

● 設定する区間は 1 秒以上必要です。
● 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中は、開始点（A）を設定できない場合があります。
● 設定した区間は、スキップや停止操作をすると解除されます。

- **ランダム** 選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生
  ● ランダム再生中は ⏮ を押して、再生し終わった曲へ戻ることはできません。
- **ザッピング** 選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分約20 秒間を順に繰り返し再生
  録音ファイル再生では表示されません
  ● サビ情報が含まれていない場合は、曲の先頭部分が約 20 秒間再生されます。

サビ情報がある場合

サビ情報がない場合

  ● ザッピング再生中は ⏮ 、⏭ を押したままにして、早戻し、早送りすることはできません。
- **イントロ再生** 選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に繰り返し再生

● ザッピング再生中やイントロ再生中に ▶/■ を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。

録音ファイル再生では表示されません

PL連続再生（プレイリスト）

- **オン** LIST を押して表示されるアーティスト、アルバム、ユーザープレイリスト内のプレイリストをまたいで再生
  - 「再生モード」の「全曲リピート」、「ランダム」、「ザッピング」、「イントロ再生」設定中もプレイリストをまたいで再生します。
  - 「ランダム」に設定していても、プレイリストは順不同に選択されません。
- **オフ**※ 選択したプレイリスト内の曲のみを再生

PL連続再生
オン
オフ

イコライザー

- **ノーマル**※ 通常の音質
- **S-XBS1** 迫力ある重低音強調
- **S-XBS2** S-XBS1 の効果をさらに強調
- **トレイン** 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止

イコライザー
ノーマル
S-XBS1
S-XBS2

再生

音質効果

- **リ．マスター**※ 圧縮録音時に失われた高音域を補完する効果
- **P. SRD1** 臨場感あふれる立体的な効果
- **P. SRD2** P. SRD1 をより強調
- **効果オフ** 効果をかけない

音質効果
リ．マスター
P. SRD1
P. SRD2

● 音楽ソースによっては、雑音が入ったり効果が少ない場合があります。雑音が入る場合は「効果オフ」に設定してください。

表示項目

- **曲名&PL(フォルダ)名**※ 曲名とプレイリスト名(録音ファイルの場合はフォルダ名)を表示
- **曲名&アーティスト** 曲名とアーティスト名を表示
- **曲名&アルバム** 曲名とアルバム名を表示
- **曲名&情報** 曲名と情報（圧縮 / 伸張方式）を表示

録音ファイル再生では表示されません

1ファイル削除 **(停止中のみ)**

SDオーディオでは表示されません

選んでいる曲を削除します。操作説明は 47 ページをお読みください。

お知らせ

● 再生する音楽データが SD オーディオと録音ファイル再生で、表示されるメニューが一部異なります。

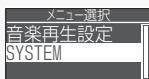
本機の設定やカードフォーマットをする

1. MENU を押す
2. ＋、－ を押して「SYSTEM」を選び、▶/■ を押す
3. ＋、－ を押して項目を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－ を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

● お買い上げ時は「※」の内容に設定されています。

メニュー選択
音楽再生設定
SYSTEM

操作音

操作音
オン
オフ

- オン※　操作ボタンを押したときに音でお知らせ（詳しくは右ページをお読みください）
- オフ　操作音を鳴らさない

LANGUAGE

LANGUAGE
日本語
ENGLISH

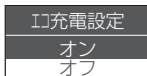
- 日本語※　日本語
- ENGLISH　英語

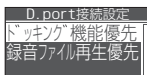
エコ充電設定

エコ充電設定
オン
オフ

- オン　通常充電時の 90% の充電
- オフ※　通常充電（100% の充電）

D.port 接続設定

D.port接続設定
ドッキング機能優先
録音ファイル再生優先

ドッキング機能搭載のSDステレオシステム（SC-PM870SD、SC-PM670SD など）と接続する場合に設定します。

- ドッキング機能優先※　SD オーディオを聴いたり、ドッキング録音／転送時に設定
- 録音ファイル再生優先　録音ファイル再生を聴くときに設定

カードフォーマット （停止中のみ）

フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが失われます。

＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押してください。

設定初期化 （停止中のみ）

＋、－ を押して「はい」を選ぶと、本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

バージョン情報

本機のファームウェア（制御ソフト）バージョンを確認することができます。

◇ 操作音

操作音が「オン」に設定されているときは音で操作をお知らせします。

ピッピッ	早送り / スキップ(▶▶I 方向)
ピッピッピッ	早戻し / スキップ(I◀◀ 方向)
ピピピッ	メニュー項目やリスト表示などで最後(先頭)の項目を表示したあと、先頭(最後)の項目に戻る場合
ピッピー	電源を切った場合
ピッ	再生など上記以外の操作をした場合

- 「オン」に設定していても、電源を入れたときは操作音は鳴りません。

◇ 本機操作時の動作表示ランプ

約 3 秒間隔で点滅	再生中
約 1 秒間隔で点滅	フォーマット中、録音中、削除中などの SD カード書き込み中
点灯	停止中、録音スタンバイ中
消灯	電源を切ったとき

◇ レジューム機能

前回停止したところから再生します。

- SD カードの交換や、曲を追加 / 削除して SD カード内の情報が変更されると解除されます。
- 新曲自動転送機能搭載の SD ステレオシステムで新曲転送した場合は、レジュームは解除され、「新曲」プレイリストの 1 曲目から再生します。
- ライン録音した場合はレジューム機能は解除され、最後に録音したファイルが含まれるフォルダ内の 1 曲目から再生します。

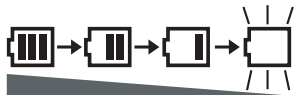
◇ オートパワーオフ

節電のため、音楽再生モードで停止状態が 1 分以上、ライン録音モードで録音停止状態が 10 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

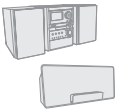
再生

■ 電池残量表示

表示パネルに電池の残量が表示されます。

- 点滅後、しばらくすると「電池残量がありません 充電してください」と表示され、電源が切れます。
  電池残量表示が点滅しているときは、早めに充電してください。

電池を消耗して電源が切れたときは

電源が切れる前に変更した設定は本機に記憶されません。本機は電源を切ったときに設定を記憶します。

電池残量表示が点滅しているときは

以下の操作は行えません。

– カードフォーマット　– ライン録音　– フォルダ作成
– フォルダ削除　–1 ファイル削除

ミニコンポ(SD ステレオシステム)などに接続する

下記対応の SD ステレオシステムやアクティブスピーカーをお持ちの場合、本機と D-snap port 接続して使用することでさらに本機の楽しみかたが広がります。

● お持ちの D-snap port 対応機器によって、楽しみかたが異なります。（2008 年 2 月現在）

	SDステレオシステム ドッキング機能搭載		SDステレオシステム	アクティブスピーカー
	SC-PM870SD SC-PM670SD (2008年4月発売予定)	SC-SX950	SC-SX850 SC-SX450 SC-PM770SD SC-NS550SD	RP-SP350
充電	対応	対応	対応	対応
続き再生	対応	対応	対応	対応
ドッキング録音	対応			
ドッキング転送		対応		

◆ 充電
本機と接続機器を D-snap port 接続することで充電することができます。

◆ 続き再生
本機で聴いていた音楽の続きを、D-snap port 接続して SD ステレオシステムなどの接続機器で聴くことができます。

◆ ドッキング録音
SD ステレオシステムで CD などを再生して、本機内の SD カードへ音楽を録音することができます。

◆ ドッキング転送
SD ステレオシステムの HDD に録音した音楽を本機内の SD カードへ、直接転送することができます。

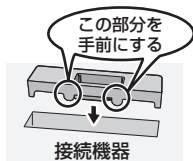
下記の機器で SD カードに録音した音楽も、本機で再生することができます。
詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。(2008 年 2 月現在)

商品名	品番
SDステレオシステム	SC-SX400、SC-SX800、SC-PM710SD、SC-PM730SD、SC-PM910DVD、SC-PM930DVD
DVD レコーダー	DMR-XW30、DMR-XW31、DMR-XW40V、DMR-XW41V、DMR-XW50、DMR-XW51、DMR-XW100、DMR-XW200V、DMR-XW300
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW200、DMR-BW700、DMR-BW800、DMR-BW900

D-snap port 接続する

接続するときは必ず付属の D-snap portアジャスタをSDステレオシステムに取り付けてください。

● 本機の電源を切っておく（P14）

1 付属のD-snap portアジャスタを取り付ける

2 本機を端子にあわせてまっすぐ奥まで装着する

● 本機を装着したとき、前後に動きますが性能的には問題ありません。

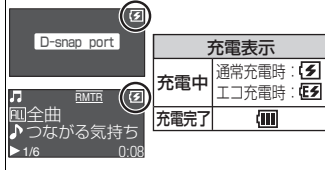
充電する

本機と接続機器を D-snap port 接続することで充電することができます。

動作表示ランプ	
充電中	点滅(約2秒間隔)
充電完了	消灯

再生しながら充電することもできます。

充電時の
画面表示例

充電表示	
充電中	通常充電時：[⚡] エコ充電時：[E⚡]
充電完了	[▮▮▮]

● 再生中の充電では、本機の表示は点灯したままになります。
● 接続機器の取扱説明書もお読みください。
● エコ充電設定については 12 ページをお読みください。

ミニコンポなどと使う

お知らせ

● 本機の電源が入った状態で、D-snap port 接続を外すと、本機の電源が切れます。
● D-snap port 接続前に本機をライン録音モードに設定していた場合、接続すると音楽再生モードになります。接続を外したあとは接続機器によって以下のようになります。
– SD ステレオシステムと接続した場合：ライン録音モードになります。
– アクティブスピーカーと接続した場合：音楽再生モードになります。

ミニコンポ（SD ステレオシステム）と使う

ドッキング機能搭載機器（SC-PM870SD、SC-PM670SD など）とお使いの場合

ドッキング機能搭載 SD ステレオシステムと D-snap port 接続すると、本機内の SD カードに直接音楽を録音 / 転送したり（ドッキング録音 / ドッキング転送）、SD ステレオシステムを操作して本機内の SD カードから再生するプレイリストを選んだりすることができます。

音楽を録音 / 転送する

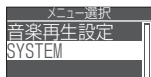
1 本機に SD カードを入れておく（P13）

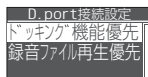
2 MENU を押す

3 ＋、－ を押して「SYSTEM」を選び、▶/■ を押す

メニュー選択
音楽再生設定
SYSTEM

4 ＋、－ を押して「D.port 接続設定」を選び、▶/■ を押す

SYSTEM
LANGUAGE
エコ充電設定
D.port接続設定

5 ＋、－ を押して「ドッキング機能優先」を選び、▶/■ を押す

D.port接続設定
ドッキング機能優先
録音ファイル再生優先

6 D-snap port 接続する

7 SDステレオシステム側を操作して録音/転送する

お知らせ

- 音楽を録音 / 転送中は本機を抜いたり、本機から SD カードを抜いたりしないでください。SD カードへ録音 / 転送できません。また、SD カード内のデータが壊れることがあります。
- 詳しくは SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

1 D-snap port 接続する

2 SD ステレオシステム側を操作して再生する

- 本機で操作することはできません。
- 本機で設定した「イコライザー」「音質効果」の効果はありません。SD ステレオシステム側で設定してください。（録音ファイル再生を聴く場合は「リ.マスター」の効果は解除されません）

お知らせ

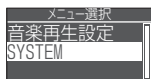
- 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合にD-snap port接続すると、「ノーマル」になります。
- 「再生モード」の「ランダム」設定はD-snap port 接続後でも引き継がれます。（あらためてプレイリスト内の曲を順不同に再生します）
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
- 詳しくは SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

本機で聴いていた音楽の続きをSDステレオシステムで聴けない場合

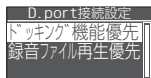
聴いていた音楽データとD.port接続設定が異なっている場合、音楽の続きを聴くことができません。

- **SD ステレオシステムなどを使って録音 / 転送した音楽を聴く場合**
  「ドッキング機能優先」を選ぶ
- **オーディオ機器と録音用ケーブルで接続して録音した音楽を聴く場合**
  「録音ファイル再生優先」を選ぶ

SDステレオシステムと接続する前に以下の操作をして、D.port 接続設定をしてください。

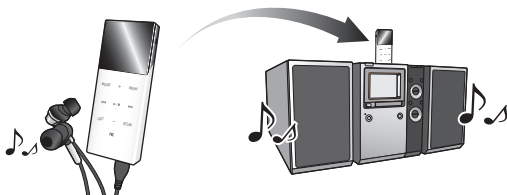
1. **MENU を押す**
2. **＋、－ を押して「SYSTEM」を選び、►/■ を押す**

3. **＋、－ を押して「D.port 接続設定」を選び、►/■ を押す**

4. **＋、－ を押して再生したい音楽データにあわせて優先設定を選び、►/■ を押す**

D.port接続設定
ドッキング機能優先
録音ファイル再生優先

ミニコンポなどと使う

ミニコンポ（SD ステレオシステム）と使う（つづき）

ドッキング機能を搭載していない D-snap port 対応 SD ステレオシステムとお使いの場合

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

1 D-snap port接続する

2 SD ステレオシステム側を操作して再生する

- 本機で操作することはできません。
- 本機で設定した「イコライザー」「音質効果」（「リ．マスター」以外）の効果はありません。SD ステレオシステム側で設定してください。

お知らせ

- 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合にD-snap port接続すると、「ノーマル」になります。
- D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
- 詳しくは SD ステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

アクティブスピーカーと使う

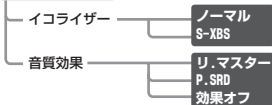
アクティブスピーカー（別売：RP-SP350）と D-snap port 接続して本機を楽しむことができます。

本機で聴いていた音楽の続きを聴く

1 D-snap port接続する

2 アクティブスピーカー側を操作して再生する

● 本機で操作することもできますが、「イコライザー」「音質効果」は以下のようになります。

音楽再生設定
- イコライザー
  - ノーマル
  - S-XBS
- 音質効果
  - リ.マスター
  - P.SRD
  - 効果オフ

● 「SYSTEM」設定の「操作音」設定を変更することはできません。
● 音量と「イコライザー」「音質効果」は、接続中に設定を変更しても、接続を外したあとは、接続前の設定になります。再度接続すると、以前接続したときの設定になります。

お知らせ

● 「再生モード」を「A-B リピート」「ザッピング」「イントロ再生」に設定している場合に D-snap port 接続したり、接続を外すと、「ノーマル」になります。
● D-snap port 接続時は、ライン録音できません。
● D-snap port 端子の入出力信号はアナログ信号です。
● 詳しくはアクティブスピーカーの取扱説明書をお読みください。

付属 CD-ROM（SD-Jukebox）を使う

SD-Jukebox は、音楽 CD の曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲を SD カードに書き込んで SD オーディオプレーヤーで楽しむことのできるソフトウェアです。

■ CD-ROM ソフトウェアの動作環境

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate

	Windows 2000/Windows XP	Windows Vista（32 bit OS）
CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB以上(1 GB以上を推奨)
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 画面の解像度 800 × 600 ピクセル以上 (1024 × 768 ピクセル以上を推奨)	
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 ● Windows® のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。	
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降	
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス	
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） ● IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 ● 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。	
インターフェース	USB 端子（SD メモリーカードの接続に必要） ● USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。	
その他	インターネット接続環境 (CDDB機能を利用する場合に必要)(ブロードバンド環境を推奨)	

お知らせ

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- 左ページ対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT® および Macintosh には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に"COMPACT disc DIGITAL AUDIO"のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

パソコンで音楽転送

■ SD-Jukebox のご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用のCPUならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

SD-Jukebox をパソコンにインストールする

付属の SD-Jukebox Ver.6.9 をインストールしてください。
SD-Jukebox Ver.5.x 以下をお使いの場合は、SD-Jukebox が本機を認識しません。

すでに SD-Jukebox をインストールされている方は
付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.6.9 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、手順 3 から操作してインストールしてください。
- インストールし直しても、インストール前に SD-Jukebox に取り込んだ音楽データは削除されません。

- **他に起動しているアプリケーションをすべて終了しておく**
- **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しない**

1. パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動しない場合

1. Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2.「＊ :¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする

- ＊はCD-ROM ドライブのIDです。
- 以下、画面の指示に従って続けてください。

3.「SD-Jukebox Ver.6.9 LE のインストール」をクリックする

4.「次へ」をクリックする

5.「使用許諾契約」画面をよく読んで、「はい」をクリックする

- 「いいえ」をクリックした場合はインストールできません。

6. 名前とシリアル番号を入力して、「次へ」をクリックする

シリアル番号は CD-ROM パッケージの表面に記載されています。

- **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**
- シリアル番号は必ず半角で入力してください。

7. インストール先を選び、「次へ」をクリックする

8. 音楽データ保存先を選び、「次へ」をクリックする

- 次に表示される画面で、「はい」をクリックしておくと、再起動後、デスクトップにアイコンが表示されます。

- お気をつけいただく内容が表示されますので、よく読んで「OK」をクリックしてください。
- SD-Jukeboxの紹介ムービーをご覧になる場合は、「はい」をクリックしてください。終了したら、「ご案内ムービーを終了」をクリックしてください。

9. 再起動方法を選び、「完了」をクリックして終了する

パソコンで音楽転送

SD-Jukebox を起動する

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする

2 表示モードを選び、クリックする

通常モード
SD-Jukeboxのすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード
SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

■ デスクトップアイコンが表示されていない場合は

Windows のスタートメニュー→
「すべてのプログラム」→
「Panasonic」→
「SD-JukeboxV6」→
「SD-JukeboxV6」
の順にクリックする

SD-Jukebox の取扱説明書(PDF ファイル)について

SD-Jukeboxの取扱説明書は、PDFファイルとして同時にインストールされます。

- 取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みいただくには、Adobe Reader が必要です。

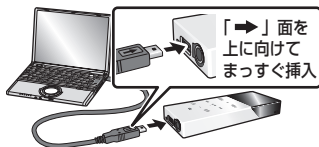
■ 取扱説明書(PDFファイル)を読む

Windows のスタートメニュー→
「すべてのプログラム」→
「Panasonic」→
「SD-JukeboxV6」→
「SD-JukeboxV6 取扱説明書」
の順にクリックする

パソコンに接続する

SD-Jukebox を使って本機に入れた SD カードに音楽を転送したり(P40)、本機をパソコンに接続して充電することができます。(P10)

USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

- **SD カードを本機に入れておく(P13)**
- **パソコンを起動させておく**

1 付属の USB 接続ケーブルを本機に差し込む

2 USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

USB接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP: [ ]、Windows Vista: [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません)

データ保存機能

本機はUSB リーダーライターとしても機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。

- SD カード内の「PRIVATE」フォルダと「SD_AUDIO」フォルダは移動や削除、名前の変更をしないでください。

お知らせ

- 「ACCESS」表示中に SD カードや USB 接続ケーブルを抜き差しすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れたりすることがあります。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

SD-JukeboxでSDカードに音楽を転送/削除する

SD-Jukebox を使って SD カードに音楽を転送するには、まず音楽をパソコン（SD-Jukebox）に取り込んで、SD-Jukebox から SD カードへ転送してください。

1 パソコン（SD-Jukebox）に取り込む

- SD-Jukebox をインストールしておく（P36）
- SD-Jukebox を起動しておく（P38）

CDの音楽

1. 音楽CDをパソコンに入れる
2. CD をクリック
3. 取り込む曲に ✓（チェック）を付ける
4. CD録音 をクリック
5. 取り込む曲の ✓（チェック）を確認し、録音を開始 をクリック

パソコン内の音楽ファイル

パソコンに保存しているWMA/MP3/AAC(MPEG4)形式ファイルをSD-Jukeboxへ取り込みます。

ファイルインポート をクリック

↓

パソコン内から音楽ファイルの入っているフォルダを選ぶ

↓

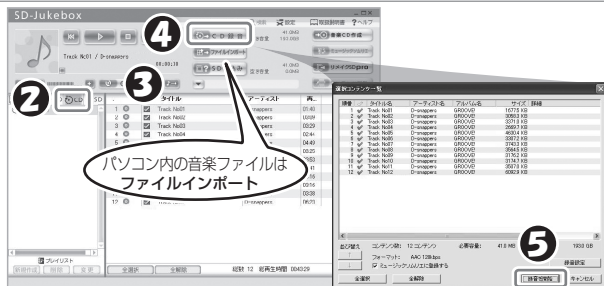
インポートを開始 をクリック

※著作権保護された音楽データを取り込むことはできません。

2 SD-JukeboxからSDカードに転送する

- 本機にSDカードを入れておく（P13）
- 本機をパソコンに接続しておく（P39）

1. HDD をクリック
2. 転送する曲に ✓ を付ける
3. SD書込み をクリック
4. 取り込む曲の ✓ を確認し、SD書込みを開始 をクリック

● 本書では、SD-Jukebox の画面表示モードを「通常モード」に設定した場合で説明しています。
● SD-Jukeboxの詳しい操作説明は、SD-Jukeboxの通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

SD-Jukebox では、SDオーディオ規格上の制限のため、１枚あたりのSDカードに転送できる曲数とプレイリスト数に以下の制限があります。

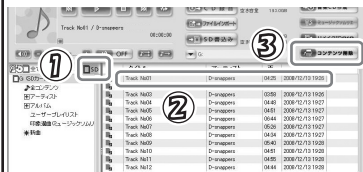
曲数：最大999※　プレイリスト数：最大99　１プレイリストあたりの曲数：最大99

※ 最大曲数は999ですが、１曲の最大管理時間が約８分30秒であるため、それを超えて記録された場合、表示は１曲でも複数の管理領域を使用することになり、最大曲数が999よりも少なくなります。（管理領域も最大999のため）

１枚のSDカードの記録曲数のめやす（１曲につき約４分とした場合）

SDカード容量	16 GB	8 GB	4 GB	2 GB	1 GB
高音質（128 kbps）	999曲	999曲	999曲	約510曲	約250曲
標準（96 kbps）	999曲	999曲	999曲	約680曲	約335曲
長時間（64 kbps）	999曲	999曲	999曲	999曲	約500曲

SDカードに転送した曲を削除する

● 本機にSDカードを入れておく（P13）
● 本機をパソコンに接続しておく（P39）
● SD-Jukebox を起動しておく（P38）

① SD をクリック

② 削除する曲のタイトル部分などをクリック

③ コンテンツ削除 をクリック

④ 確認画面でいずれかの選択肢を選び、クリック

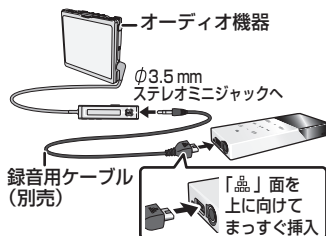
パソコンで音楽転送

MD プレーヤーなどと接続して録音する

本機とMD プレーヤーなどのオーディオ機器や携帯電話を専用の録音用ケーブル（別売：RP-WA100）で接続して、本機に入れた SD カードに直接、音楽などをアナログ録音することができます。

圧縮 / 伸張方式：MP3

● 空き容量のある SD カードを本機に入れておく（P13）

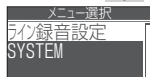
1 本機とオーディオ機器を録音用ケーブルで接続する

2 ▶/■ を押して電源を入れる

3 MODE を押す

4 ⏮、⏭ を押して「REC ライン録音」を選び、▶/■ を押す

録音停止画面になります。

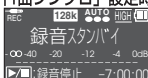
5 録音設定をする

1. MENU を押す
2. ＋、－ を押して「ライン録音設定」を選び、▶/■ を押す

3. ＋、－ を押して「録音レベル」を選び、▶/■ を押す
4. ＋、－ を押して設定内容を選び、▶/■ を押す

● 設定内容については、右ページをお読みください。

● 「録音モード」「シンクロ設定」についても同様の操作で設定してください。

6 ▶/■ を押す

「オートシンクロ」「1曲シンクロ」設定時

録音スタンバイ画面になります。

「マニュアル録音」設定時

録音が始まります。

7 オーディオ機器を再生する

「オートシンクロ」「1曲シンクロ」設定時はオーディオ機器から音を検知すると録音が始まります。

8 ▶/■ を押して録音を終える

録音モード（ビットレート設定）	※お買い上げ時の設定
XP（128kbps）※：高音質（128 kbps）で録音 SP（96kbps）：標準の音質（96 kbps）で録音 LP（64kbps）：長時間録音に対応（64 kbps）	

録音レベル	※お買い上げ時の設定
HIGH ※：ヘッドホン出力端子「🎧」から録音 MID：ラジオカセットのライン出力端子「LINE OUT」から録音 LOW：ステレオシステムのライン出力端子「LINE OUT」から録音	

設定後、オーディオ機器を再生して、録音レベルメーターが −12 dBから−4 dBの間になるように設定を変更してください。

録音レベルメーター

ヘッドホン出力端子「🎧」から録音する場合は

1. **録音レベルを「HIGH」に設定する**
2. **オーディオ機器を再生する**
3. **オーディオ機器側を操作し、イコライザーなどの音質設定や操作音などを解除する**
4. **録音レベルメーターを見ながら、オーディオ機器の音量を調整する**

シンクロ設定	※お買い上げ時の設定
シンクロとは、音を検知すると自動的に録音を開始し、3 秒以上の無音を検知するまでを 1 曲 /1 ファイルとして録音することです。 **オートシンクロ**※：複数の曲をシンクロ録音します。10 分以上、無音が続くと録音を停止します。 **1 曲シンクロ**：1 曲だけをシンクロ録音して停止します。 **マニュアル録音**：録音開始から ▶/■ を押して録音を停止するまでを、1 曲として録音します。無音が多かったり、曲先頭部分の音量が小さい曲を録音するときはマニュアル録音に設定してください。	

お知らせ

- インサイドホンを本機に接続すると、録音時の音を確認することができます。（本機のモニター音量を調節しても、録音レベルは変わりません）
- 1 ファイルの連続録音時間は 12 時間です。
- 録音中は SD カードを取り出さないでください。
- 残り時間が 10 分未満になると、動作表示ランプの点滅速度が速くなります。
- 録音中は、本機の表示は点灯したままになります。
- オーディオ機器の説明書もお読みください。

フォルダについて

■ オートシンクロで録音時

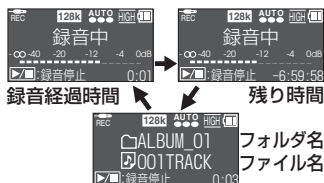
録音停止画面から、録音を開始すると新しいフォルダに録音されます。

■ 1 曲シンクロ、マニュアル録音で録音時

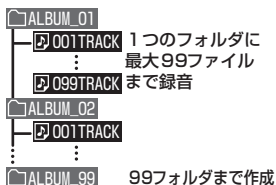
1 つのフォルダに続けて録音します。

- 以下の場合は自動的にフォルダが作成されます。
  - 「オートシンクロ」から切り換えて録音を開始した場合
  - 「099TRACK」が録音された場合

録音中に表示を切り換える

録音中に MENU を押すたびに、表示が切り換わります。

- カード容量に関係なく、残り時間は最大「－ 12:00:00」となります。

フォルダ名 / ファイル名について

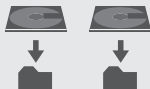
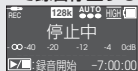
録音した音楽は、SD カード内に「ALBUM_xx」フォルダが作成され、その中に「xxxTRACK」ファイルとして保存されます。(「x」には自動的に数字が順に割り当てられます)

☞ フォルダを削除する：48 ページ

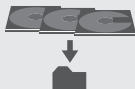
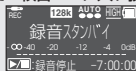
お知らせ

- 削除したフォルダは空き番号になります。「ALBUM_99」フォルダまで割り当てられると空き番号のフォルダに録音されます。空き番号のフォルダを指定して録音することはできません。

シンクロ設定の録音例

オートシンクロ

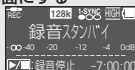
MD1枚につき1つのフォルダで録音

1. 1枚目の録音終了後に ▶/■ を押して録音停止する

2. MDを入れ換えて録音操作をする

複数のMDを1つのフォルダにまとめて録音

1. 1枚目MDの録音が終わったら、録音スタンバイ画面で2枚目MDに入れ換える

2. 接続しているオーディオ機器側を操作して再生する
3. すべての録音を終了するときは本機の ▶/■ を押す

● 99ファイルを超えた場合は録音が停止します。▶/■ を押して録音スタンバイ状態にしてから、オーディオ機器を再生すると、新しいフォルダに録音されます。

1曲シンクロ

好きな曲を集めて1つのフォルダに録音

1. 1曲を録音し終わったら接続しているオーディオ機器側を操作して停止する
2. ▶/■ を押して録音スタンバイ画面にする

3. 別の曲を選び、オーディオ機器側を操作して再生する

● 99ファイルを超えるまで同じフォルダに録音されます。
新しいフォルダに録音したい場合はフォルダを作成してください。

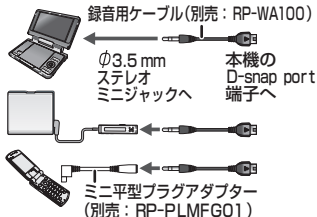
フォルダの作成

1曲シンクロやマニュアル録音で録音する場合に新しいフォルダに録音することができます。

1. 録音停止画面で MENU を押す
2. ＋ 、－ を押して「ライン録音設定」を選び、▶/■ を押す
3. ＋ 、－ を押して「フォルダ作成」を選び、▶/■ を押す
4. ＋ 、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押す

録音用ケーブル(別売)の接続例

オーディオ機器側にライン出力端子「LINE OUT」がない場合は、ヘッドホン出力端子「🎧」(当社製MDプレーヤーをお使いの場合はリモコン出力端子）に接続してください。

ライン録音

録音フォルダから曲（ファイル）を探して聴く

本機とMDプレーヤーなどを録音用ケーブルで接続して録音するときに作成されるフォルダから聴きたい曲（ファイル）を選ぶことができます。

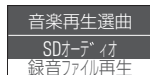
- 音楽データを記録したSDカードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 **MODE を押す**

2 **⏮、⏭ を押して「♫ 音楽再生」を選び、▶/■ を押す**

3 **LIST を押す**

下の画面が表示される場合は、＋、－ を押して「録音ファイル再生」を選び、▶/■ を押してください。

音楽再生選曲
SDオーディオ
録音ファイル再生

4 **＋、－ を押してフォルダを選び、▶/■ を押す**

5 **＋、－ を押して選曲リストから再生したい曲（ファイル）を選び、▶/■ を押す**

- 再生画面で LIST を約 2 秒以上押すと、選んでいるフォルダの選曲リストを表示することができます。（しばらく操作をしないでいると、再生画面に戻ります）

☞ 再生方法や音質の設定をする：P24
☞ 本機の設定やカードフォーマットをする：P26
☞ 曲名を変える：P49

お知らせ

- WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラでSDカードに直接転送しても本機では再生できません。
- 録音ファイル選曲画面で「全ファイル」を選ぶと、本機で録音したすべての曲から再生したい曲を選べます。

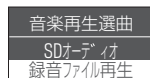
録音した曲（ファイル）を 1 曲ずつ削除する

- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 **MODE を押す**

2 **⏮、⏭ を押して「♫ 音楽再生」を選び、▶/■ を押す**

下の画面が表示される場合は、＋、－ を押して「録音ファイル再生」を選び、▶/■ を押してください。

音楽再生選曲
SDオーディオ
録音ファイル再生

3 **削除したい曲（ファイル）を選んで停止する**

4 **MENU を押す**

5 **＋、－ を押して「音楽再生設定」を選び、▶/■ を押す**

メニュー選択
音楽再生設定
SYSTEM

6 **＋、－ を押して「1 ファイル削除」を選び、▶/■ を押す**

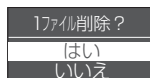
音楽再生設定
音質効果
表示項目
1ファイル削除

7 **＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押す**

1ファイル削除？
はい
いいえ

8 **＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押す**

いいですか？
はい
いいえ

☞ SD オーディオの曲を削除する：P41

録音フォルダ単位でまとめて削除する

フォルダ削除すると、フォルダ内の曲がすべて削除されます。

- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P13）
- ▶/■ を押して電源を入れておく

1 **MODE を押す**

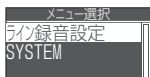
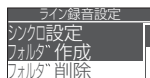
2 **⏮、⏭ を押して「REC ライン録音」を選び、▶/■ を押す**

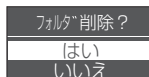
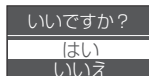
3 **MENU を押す**

4 **＋、－ を押して「ライン録音設定」を選び、▶/■ を押す**

メニュー選択
ライン録音設定
SYSTEM

5 **＋、－ を押して「フォルダ削除」を選び、▶/■ を押す**

ライン録音設定
シンクロ設定
フォルダ作成
フォルダ削除

6 **＋、－ を押して削除したいフォルダを選び、▶/■ を押す**

7 **＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押す**

8 **＋、－ を押して「はい」を選び、▶/■ を押す**

☞ SD オーディオの曲を削除する：P41

お知らせ

- 削除中に MENU を押すと、MENU を押した以降のファイルやフォルダの削除をキャンセルします。（キャンセルするまでに削除されたファイルやフォルダは元に戻すことができません）
- 削除するフォルダ内のファイル数が多いと時間がかかります。充電式電池を十分に充電してから削除してください。

曲名を変えたり保管するためにパソコンへ取り込む

録音用ケーブルで接続して録音した曲（ファイル）を付属の CD-ROM（SD-Jukebox）を使って SD オーディオにしてパソコンに取り込むことができます。

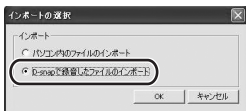
SD-Jukebox に取り込むと

- 他の SD オーディオ対応機器で再生できるようになります。
- SD-Jukebox を使って、フォルダ名（プレイリスト名）を変更したり、ファイル名を変更することができます。

- 付属の CD-ROM をインストールしておく（P36）
- 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P13）
- 本機とパソコンを接続しておく（P39）

1 **SD-Jukebox を「通常モード」で起動する（P38）**

2 **[ファイルインポート] をクリックする**

3 **「D-snapで録音したファイルのインポート」を選び、「OK」をクリックする**

4 **[参照] をクリックして取り込むフォルダを選ぶ**

5 **オプションを設定して、[インポートを開始] をクリックする**

☞ 取り込んだ音楽を
SD カードに転送する：P40

お知らせ

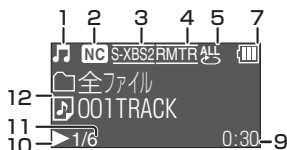
- ファイルインポートする前にフォルダやファイルの名前を変更すると、ファイルインポートできません。
- 詳しい操作説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

画面表示 / こんな表示が出たら

音楽再生モード

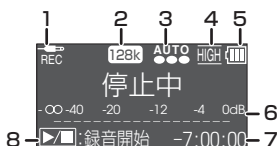
「SDオーディオ」再生時

1 2 3 4 5 6 7
8
12
11
10
9
ALL 全曲
♪つながる気持ち
▶1/6 0:30

「録音ファイル再生」再生時

1. モード
2. ノイズキャンセル / モニター機能
   - NC ：ノイズキャンセル機能オン
   - ：モニター機能オン
3. イコライザー
   - S-XBS1 ：S-XBS1
   - S-XBS2 ：S-XBS2
   - TRAIN ：トレイン
4. 音質効果
   - RMTR ：リ. マスター
   - P.SRD1 ：P.SRD1
   - P.SRD2 ：P.SRD2
5. 再生モード
   - 1 ：1 曲リピート
   - ALL ：全曲リピート
   - AB ：A-B リピート
   - ：ランダム
   - INTRO ：イントロ再生
6. PL 連続再生
   - ：PL 連続再生時
7. 電池残量（充電表示）
   - ：電池残量表示
   - ：通常充電時
   - E ：エコ充電時
8. ザッピング
   - ♪サビ ：サビ情報あり
   - ♪イントロ：サビ情報なし
9. 再生時間
10. 再生 / 停止表示
    - ▶：再生中
    - ■：停止中
11. 現在の曲 / 総曲数
12. 表示項目

    「SD オーディオ」再生時
    「曲名 &PL（フォルダ）名」
    「曲名 & アーティスト」
    「曲名 & アルバム」
    「曲名 & 情報」
    「録音ファイル再生」再生時
    「曲名 &PL（フォルダ）名」
    「曲名 & 情報」

    - 表示項目が長い場合、スクロールして全体を表示したあと、先頭部分が表示されます。（全角文字と半角文字がある場合は、途中で文字が切れる場合があります）

ライン録音モード

1. **モード**
2. **録音モード**
   - 128k ：XP（128 kbps）
   - 96k ：SP（96 kbps）
   - 64k ：LP（64 kbps）
3. **シンクロ設定**
   - AUTO ：オートシンクロ
   - 1-SYNC ：1 曲シンクロ
   - MANUAL ：マニュアル録音
4. **録音レベル**
   - HIGH ：HIGH
   - MID ：MID
   - LOW ：LOW
5. **電池残量（充電表示）**
   - ：電池残量表示
   - ：通常充電時
   - ：エコ充電時
6. **録音レベルメーター**
7. **録音時間**
   - 0:00 ：録音経過時間
   - –0:00:00 ：録音可能残り時間
8. **操作案内**
   - ▶/■:録音開始 ：▶/■ を押すと録音を開始
   - ▶/■:録音停止 ：▶/■ を押すと録音を終了

■ こんな表示が出たら

HOLD	● ホールド状態です。（P16）
サポート外のフォーマットです	● Windows 標準のフォーマット機能などでフォーマットした SD カードは使用できません。本機（P26）または SD-Jukebox でフォーマットしてください。
カードを確認してください	● マルチメディアカードは使用できません。 ● SD規格に準拠していないカードは使用できません。(P57)
カードがロックされています	● SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。書き込み禁止スイッチを元に戻してください。（P13）
パスワードでロックされています	● SD カードにパスワードがかかっていて、再生や転送ができません。パスワードをかけた機器で解除してください。
カードにアクセス中です	● SD カードを抜かないでください。

画面表示 / こんな表示が出たら（つづき）

表示	内容
再生トラックがありません	● 本機で再生できる音楽が記録されていません。音楽は以下の方法で記録してください。 – SD-Jukebox を使って転送する（P40） – 当社製 SD ステレオシステムで録音 / 転送する – 別売の録音用ケーブルで接続して録音する（P42） パソコンのエクスプローラで直接転送した音楽データや他社製の SD オーディオ規格に準拠していないミニコンポなどで転送した音楽データは本機で再生できません。
SDオーディオでは使用できないカードです	● 著作権保護機能に対応していない SD カードは本機で使用できません。著作権保護機能に対応した SD カードを使ってください。（当社製 SD カードをおすすめします）
ERROR	● エラーです。SD カードの出し入れ、電源の入 / 切で直らないときは、クリップなど先のとがったものを使って RESET ボタンを押してください。（P9）
充電温度異常です常温で充電してください※	● 充電式電池の温度が約 5 ℃以下または約 40 ℃以上になると充電できません。常温で充電し直してください。
電源電圧異常です充電できません※	● 付属のUSB接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。 ● 指定外の AC アダプターを使用しているときは､別売の専用 AC アダプター（RP-AC800）を使用してください。
電池異常のため使用できません※	● 故障の可能性があります。お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」(P67 ～ 69)にお問い合わせください。
最大フォルダ番号を超えるため録音できません	● ライン録音では SD カードの容量にかかわらず、1 つのフォルダに最大 99 ファイルまで、最大 99 フォルダ作成できます。最大数を超える場合は不要なフォルダを削除してください。（P48）
削除できないファイルがありました	● 本機でライン録音したファイル（「xxxTRACK」）以外のファイルがあるフォルダは削除できません。エクスプローラなどでファイルの移動や名前の変更を行わないでください。
接続を確認してください	● D-snap port 接続ができていません。本機と D-snap port アジャスタ、接続機器が正しく接続されているか確認してください。 ● D-snap port に対応していない機器と本機を接続しても使用できません。接続機器が D-snap port 対応機器か確認してください。

※ 表示とともに動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。（画面表示は約 10 秒間表示後、消灯します）

故障かな !?

まず、下表でご確認ください。電源が切れないなど本機が正常に動作しないときは、RESET ボタンを押してください。（P9）それでも直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたり、水ぬれにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

電源が入らない 操作できない 電源が切れる	● ホールド状態になっていませんか？（P16） ● 電池が消耗していませんか？（P27） （充電式電池を充電してから操作してください（P10、11）） ● かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？（ホールド機能を使ってください（P16））
充電できない 充電しても再生時間が短い	● 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？ （温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が通常より長くなる場合があります。また、電池温度が約 5 ℃以下または約 40 ℃以上になると充電できません。常温で充電し直してください。） ● パソコンの電源が切れていたり、スタンバイ状態などの省電力モードになっていませんか？ ● USB ハブや延長コードを使用して充電していませんか？ （付属の USB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください） ● はじめての充電や長時間未使用後の充電では再生時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ● 充電しても再生時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。充電式電池の交換は、お近くのサービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」（P67 ～ 69）にお問い合わせください。 ● SD カードによっては、再生時間が極端に短い場合があります。付属のSDカードに音楽を転送して試してください。
本体が熱い	● 充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
本機がSDカードを認識しない	● Windows 標準のフォーマット機能などで SD カードをフォーマットしませんでしたか？ （本機（P26）やSD-Jukeboxでフォーマットしてください） ● 付属の SD カードを本機に入れて試してください。
SD オーディオ再生できない	● 音楽データはSDオーディオ規格に準拠していますか？（P15） ● SD-Jukebox を使って音楽データを転送しましたか？ （WMA/MP3/AAC形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機で再生できません）

故障かな !? （つづき）

SD-JukeboxがSD カードを認識しない	● USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。 ● SD-Jukebox Ver.5.x 以下を使用していませんか？（付属の SD-Jukebox Ver.6.9 を使用してください） ● お使いのパソコンのUSB端子は正常に動作していますか？（他の USB 機器を接続して確認してください） ● USB ハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？（付属のUSB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください） ● 付属の SD カードを本機に入れて試してください。 ● 著作権保護機能に対応していないUSBリーダー/ライターでは SD-Jukebox で認識できません。付属の USB 接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。
聴こえない 音が小さい	● 音量が最小になっていませんか？（P14） ● モニター機能オンになっていませんか？（P18） ● インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（一度抜いて、再度差し込んでください） ● プラグが汚れていませんか？
音が途切れる 音が飛ぶ 雑音が多い	● SD-Jukebox から SD カードに転送した音楽データは正常ですか？（SD-Jukebox に取り込んでいる音楽を確認してください） ● 付属の SD カードに音楽を転送して試してください。 ● SD カードを本機（P26）や SD-Jukebox でフォーマットしてから音楽を転送すると、改善される場合があります。
50 音検索が正しくできない	● プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？（P23）
1 曲目から順番に再生しない	● 「再生モード」が「ランダム」に設定されていませんか？（P24） ● レジューム機能が働いていませんか？（P27）
ノイズキャンセル / モニター機能が働かない	● インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（一度抜いて、再度差し込んでください） ● 本機は付属品以外のインサイドホンでも使用できますが、ノイズキャンセル / モニター機能は使用できません。
他の D-snap で登録したマーク登録曲のプレイリストが表示されない	● 本機はマーク登録機能に対応していません。お気に入り曲を登録したい場合は、SD-Jukebox を使ってユーザープレイリストを作成してください。詳しくは SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

録音できない	● 電池残量表示が点滅していませんか？（P27） （充電式電池を充電してから操作してください(P10、11)） ● 専用の録音用ケーブル（別売：RP-WA100）が正しく接続されていますか？ ● SD カードが正しく認識されていますか？ （付属の SD カードを本機に入れて試してください） ● 録音中に電池残量がなくなったのではありませんか？ （電池残量が十分に残っていることを確認してから録音してください）
録音した音がひずむ、小さい	● 録音レベルを調整しましたか？（P43） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合、オーディオ機器側を確認してください。 – ひずむ場合：イコライザーなどの音質設定は解除する – 小さい場合：オーディオ機器側の音量を調整する
シンクロ録音が上手にできない	● 曲の先頭部分の音量が小さい場合は、録音レベルを調整してください。（P43）それでも録音できない場合は、「シンクロ設定」を「マニュアル録音」に設定してください。（P43） ● オーディオ機器のヘッドホン出力端子「🎧」に接続して録音する場合は、オーディオ機器側の操作音を切ってから録音してください。
音楽データを他のパソコンに移動 / コピーできない	● SD-Jukebox や SD ステレオシステムなどから SD カードに転送した音楽データには暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。SD カードに転送した音楽データは他のパソコンに移動 / コピーすることができません。
付属のCD-ROMのインストールができない	● お使いのパソコンが CD-ROM の動作環境に対応していますか？（P34）
SD-Jukebox Ver.6.9 の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	● Adobe Reader がお使いのパソコンにインストールされていますか？ （SD-Jukebox Ver.6.9 の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Reader が必要です。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）から Adobe Reader をダウンロードしてください。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他社製のSD対応ミニコンポで録音したSDカードを本機で再生できるか？	SD オーディオ規格に準拠していない他社製ミニコンポで録音した場合は、本機で再生できません。 → 録音用ケーブル（別売：RP-WA100）を使って接続して録音すると、本機で再生できます。（P42）
音楽サイトからパソコンや携帯電話にダウンロードした音楽を本機で再生できるか？	● パソコンにダウンロードした音楽の場合、著作権保護された音楽データは SD-Jukebox にファイルインポートできないので再生できません。 ● 携帯電話にダウンロードした音楽は、SD オーディオ規格に準拠していない場合、本機で再生できません。 → 録音用ケーブル（別売：RP-WA100）を使って接続して録音すると、本機で再生できます。（P42）
Windows Media Player で録音した音楽を本機で再生できるか？	SD-Jukebox を使ってファイルインポートすると、再生できます。（著作権保護された音楽データはファイルインポートできません） ファイルインポートについて詳しくは、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
ラジオカセットやヘッドホンステレオから録音するにはどうするのか？	ライン録音機能を使って録音します。（P42） ラジオカセットなどにあるヘッドホン端子と本機を録音用ケーブル（別売：RP-WA100）を使って接続してください。
他の D-snap で聴いていた SD カードの音楽を本機で再生できるか？	再生できます。（ただし、マーク登録再生やボイス録音ファイルは再生できません）
パソコンに、以前の SD-Jukebox が入っているが、付属の CD-ROM のインストールが必要か？ 音楽データはどうなるのか？	SD-Jukebox が Ver.6.x 以上であればそのまま使用できます。本機で再生する場合は付属の SD-Jukebox Ver.6.9 のインストールをおすすめします。再インストールしても音楽データは削除されません。
どんなSDカードが使えるか？	SD 規格に準拠した SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードに対応しています。（当社製を推奨）詳しくは右ページをお読みください。
製造番号はどこにあるか？	本機のカードふたの内側に記載しています。（P9）

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときは収納袋などに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

■ 本機で使用できる SD カードは（2008 年 2 月現在）

カードの種類（当社製を推奨）	
SD メモリーカード (8 MB ～ 2 GB)	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード (4 GB、8 GB、16 GB)	SD規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされたもの
miniSD カード	本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。(P13)
microSDカード/microSDHCカード	

- SDHCメモリーカードはSDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください）
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB 以上のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- マルチメディアカードは使用できません。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本機を廃棄するときのお願い

ご使用済み製品の廃棄に際しては、本機に内蔵している充電式電池を取り出し、充電式電池のリサイクルにご協力ください。充電式電池の取り出しかたについては右ページをお読みください。

- 取り出した充電式電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

	本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない 取り出した充電式電池は充電しないでください。 ● **火への投入、加熱をしない** ● **クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない** ● **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない** ● **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない** ● **電子レンジやオーブンなどで加熱しない** ● **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない** 発熱・発火・破裂の原因になります。
警告	**取り出した充電式電池やねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
⚠ 警告	**電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする** ● 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。 ● 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称：リチウムイオン（Li-ion）充電式電池
公称電圧：DC 3.7 V

Li-ion 00

充電式

リチウムイオン電池使用

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

■ 充電式電池の取り出しかた

電池を使いきってから分解してください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い､以下の手順で分解してください。(ドライバーは付属していません)
- 上手に取り出せない場合､「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。(P67)

仕様

サンプリング周波数	**SD オーディオ**※1：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **録音ファイル**　：32 kHz、44.1 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	**SD オーディオ**※1：AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式 **録音ファイル**　：MP3 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ
周波数特性	20 Hz ～ 20,000 Hz（＋ 0 dB ～－ 6 dB）
音声出力	3.3 mW+3.3 mW(16 Ω、6極∅3.5 mmステレオミニジャック)
電源	内蔵充電式電池：DC 3.7 V
充電時間	通常充電時：約 3 時間 エコ充電時：約 2 時間
電池持続時間（通常充電時の充電）	◆ **SD オーディオ連続再生** ● ノイズキャンセル機能オフ　：約 100 時間 ● ノイズキャンセル / モニター機能オン：約 60 時間 (当社製の SD カード、ノイズキャンセリングインサイドホン使用時、イコライザー「ノーマル」、音質効果「効果オフ」、ビットレート 96 kbps の AAC 再生時） ◆ **ライン録音:**約 18 時間(ビットレート96 kbpsで録音時) エコ充電設定時に充電した場合の電池持続時間は通常充電時の 90% の時間となります。
ライン入力端子	入力インピーダンス：27 kΩ 入力レベル:HIGH　0.35 V/MID　0.7 V/LOW　2.0 V
ノイズキャンセル効果	83% カット（300 Hz にて）
対応 USB	USB 2.0（High Speed）
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20% ～ 80%（結露なきこと）
本体寸法	幅 35.0 mm ×高さ 90.7 mm ×奥行き 11.4 mm（突起部除く）
最大外形寸法	幅 35.0 mm ×高さ 91.3 mm ×奥行き 12.3 mm（JEITA）
質量	約 40 g
対応記録メディア	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 16 GB まで）

※1 対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

録音フォーマット

圧縮 / 伸張方式	MP3 方式	録音チャンネル	2 ch ステレオ
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz	ビットレート	64 kbps、96 kbps、128 kbps

録音時間の目安

録音モード / SD カード容量	高音質 XP （128 kbps）	標準 SP （96 kbps）	長時間 LP （64 kbps）
128 MB	約 2 時間 10 分	約 2 時間 53 分	約 4 時間 20 分
256 MB	約 4 時間 14 分	約 5 時間 38 分	約 8 時間 28 分
512 MB	約 8 時間 23 分	約 11 時間 11 分	約 16 時間 47 分
1 GB	約 16 時間 47 分	約 22 時間 23 分	約 33 時間 34 分
2 GB	約 34 時間 8 分	約 45 時間 31 分	約 68 時間 17 分
4 GB	約 66 時間 29 分	約 88 時間 39 分	約 132 時間 59 分
8 GB	約 136 時間 27 分	約 139 時間 5 分※2	約142時間38分※2
16 GB	約 139 時間 5 分※2	約 139 時間 5 分※2	約142時間38分※2

※2 SD オーディオの場合、SD オーディオ規格の時間管理の制限により、曲数に限らず最大記録時間に限界があり、この時間以上の記録はできません。

– SDカードに音楽ファイルなどのデータが入っている場合は、録音時間は短くなります。
– カード容量や電源に関係なく、ライン録音時の連続録音は 1 ファイルあたり最大12 時間です。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
  （表示できない文字は「_」と表示されます）
  表示可能文字　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※3には対応していません）

※3 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

本機は充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

分解禁止

分解、改造をしない
(製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

乗り物を運転中に操作したりノイズキャンセリングインサイドホンで使わない

交通事故の原因になることがあります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

反射光を人に当てない

本機の表面は鏡面仕上げになっており、直射日光などの強い光の下では、反射光が乗り物を運転中の人の目に入り、思わぬ事故を引き起こします。

- 本機の反射光に注意してお使いください。

⚠注意

ノイズキャンセリングインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

ノイズキャンセリングインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

- SDHC ロゴは商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Intel、PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomson からライセンスを受けています。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com
Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000–2008 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000–2008 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。
Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。
Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：
www.gracenote.com/corporate
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：
お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD オーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD オーディオプレーヤー
品　番	SV-SD870N
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料 · 部品代 · 出張料などで構成されています。

技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換 · 調整 · 修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

保証とアフターサービス(よくお読みください)(つづき)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎ (0138)48-6631

東北地区

拠点	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首都圏地区

拠点	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

中部地区

拠点	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)255-1380

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

さくいん

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	SV-SD870N
販 売 店 名	☎（ ）		

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口はP68、69をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のP66をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.

持込修理

Panasonic

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-SD870N
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間** （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）　－
※販売店	住所・氏名 電話　（　）　－

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL（06）6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。